

次世代医療AI対決：ChatGPT 5.2 vs. Gemini 3.0

2025年、医療AIは「実験」から「実用」の段階へ。OpenAIの「ChatGPT 5.2」とGoogleの「Gemini 3.0」は、業務クリティカルなインフラとして設計されたプロフェッショナルグレードAI。両者は異なるアプローチで医療の課題解決を目指しており、「どちらが優れているか」ではなく「どのタスクに適しているか」が重要です。

「熟慮的思考」を模倣する推論能力



内部で仮説を検証し、論理的に矛盾のない診断結論を導き出します。

幻覚 (ハルシネーション) を30%低減



臨床意思決定支援において、裏実に基づかない情報生成のリスクを大幅に抑制します。

電子カルテ(Epic)とシームレスに統合



診療会話の自動カルテ化(DAX Copilot)で医師の事務作業を削減します。

ChatGPT 5.2 (OpenAI) –
最高の臨床パートナー

Gemini 3.0 (Google) –
最強の医療データ解析エンジン

ネイティブ・マルチモーダル処理



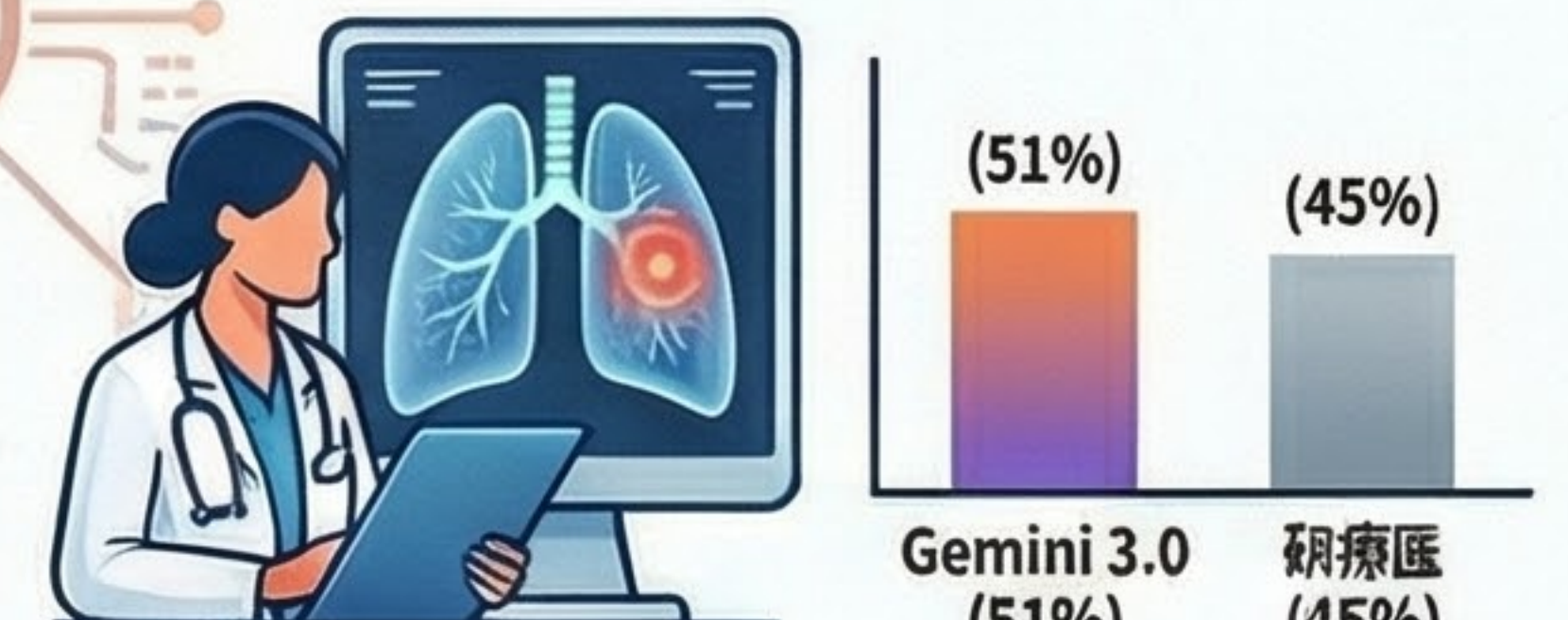
X線やMRIなどの医用画像をテキストと同様にネイティブで理解・解析します。

100万トークン超の超長文脈



患者の生涯にわたる診療記録すべてを一度に読み込み、分析可能です。

放射線画像診断で研修医を上回る



汎用モデルとして初めて研修医の平均正答率(45%)を超える精度(51%)を達成しました。

コアアーキテクチャの主な違い

特性	ChatGPT 5.2 (OpenAI)	Gemini 3.0 (Google)
推論モデル	System 2 (熟慮的・論理的)	ネイティブ・マルチモーダル
マルチモーダル	テキスト主導+画像認識	画像・動画・音声を統合処理
コンテキスト	約40万トークン	100万トークン以上